

さ た け し ょ ざ ん ひ つ か き つ ば た ず  
佐竹曙山筆 燕子花にナイフ図

- 1 種 別 有形文化財（絵画）
- 2 名称及び員数 佐竹曙山筆 燕子花にナイフ図 1幅
- 3 形 状 絹本著色 軸装
- 4 寸 法 縦112.5cm、横40.0cm
- 5 制 作 者 佐竹曙山
- 6 制 作 年 代 江戸時代後期
- 7 所 在 地 秋田市中通二丁目3番8号 秋田市立千秋美術館
- 8 所 有 者 秋田市
- 9 説 明

燕子花の花や葉を、色彩の濃淡と細線によって精密に写し、花器に陰影を施すなど西洋画的な写実的精神がうかがわれる。舶載の西洋ナイフを配することで、従来の伝統的な絵画にはなかった静物画を描こうという試みにも作画への意気込みが感じられる。

燕子花の花弁の紫は舶来の顔料であるプルシャンプルーと染料系の赤い絵の具を使うことで柔らかな透明感を描き出した。花器とナイフの刃には、銀の裏箔が用いられており、鈍い輝きをもった金属の質感を感じさせる。背景にひかれたプルシャンプルーも空間表現に極めて効果的である。

落款は、画面右上に「源義敦画」の墨署と、朱文円印「Zwaar wit」の蘭語印が押されている。

神戸市立博物館に類似作品の「燕子花にハサミ図」が所蔵される。

#### 参考

重要美術品認定「絹本著色燕子花ニナイフ圖 佐竹曙山筆」

昭和11年（1936）9月12日

